

令和8年度 道徳教育全体計画

宮城県宮城広瀬高等学校

校訓

自律 自照 自愛

関係法令等

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領

道徳教育の推進体制

総務部
保護者・地域との連携
教務部
教育課程全般
生徒指導部
生徒指導に関すること
進路指導部
進路指導に関すること
保健指導部
保健指導に関すること
図書情報部
環境の充実に関すること

教育方針

心身ともに健全で、知・徳・体の調和がとれ、社会に貢献できる、有能な人物を育成する。

生徒の実態

明るく、元気よくあいさつをする。地域の清掃活動や、様々な奉仕活動に取り組んでいる。素直な態度で規律・規範を守ろうとする。

教育目標

- 1 正しく自己を見つめ、愛情をもって人に接する調和のとれた人間性を養う。
- 2 たゆまぬ努力により積極的に学ぶ態度を身に付け、自己啓発に努めるとともに豊かな創造性を養う。
- 3 困難に屈しない自主独立の精神力と体力を鍛え、社会に奉仕する実践的態度を養う。

道徳教育の重点目標

自己の在り方生き方について正しく見つめ、愛情をもって人に接する調和のとれた人間性を養う。

学年目標

- 1 学年 高校生としての自覚をもち、自らの考えや信念に基づいて積極的に行動する力を養うとともに、正しく自己を見つめ、愛情をもって人に接する人間性と社会性を養う。
- 2 学年 中堅・中核学年としての自覚をもち、学校活動に主体的で自律した行動する力を養うとともに、正しく自己を見つめ、愛情をもって人に接する人間性と社会性を養う。
- 3 学年 最高学年としての自覚をもち、学校作りの中核として積極的に行動する力を養うとともに、正しく自己を見つめ、思慮をもって人と接する人間性と社会性を養い、社会に出るための最終準備期間とする。

各教科・科目、総合的な学習の時間、特別活動における関連

国語：国語に親しむことで、日本の伝統や文化への理解を深め、豊かな人間性や他を尊重する心を育む。
地公：異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献するような資質を養う。
数学：洞察力や論理的な思考力を培うとともに、合理的に判断する態度の育成を図る。
理科：自然の事物・現象についての理解を深め、自然と調和のとれた生き方を考える能力を養う。
保体：規律ある集団行動を通して、公正な立場で協力する態度を養う。
芸術：多様な表現活動や鑑賞を通して豊かな情操を養い、自他の感性を受容する資質の育成を図る。
英語：外国の文化や生活様式を理解し、日本文化の伝統や風土に対する認識を深める。
家庭：健全な家庭・社会生活の在り方について学び、家庭や家族への愛情を育てる。
情報：情報モラルと情報活用実践力を身に付けさせ、情報社会に主体的に参画する態度の育成を図る。
総合的な探究の時間：様々な活動を通して、自己の在り方生き方について見つめさせる。
特別活動：学級活動や学校行事などの集団活動を通して、望ましい人間関係を育てる。

特色ある教育活動・体験的活動

- 1) 近隣の子童館や保育園での読み聞かせボランティア
- 2) 2年次に実施する就業体験
- 3) 通学路の清掃、除雪活動や校内の花壇整備など

学校の環境の充実

広高タイムへの取り組みを充実させると共に、掲示物の工夫やHR文庫を活用し、学習や進路に関する情報を提供する。

家庭・地域・異校種との連携

多様なコミュニティとの連携を通じて多彩な人間関係の構築を図り、相互理解を深めるとともに、他者への信頼感と自己肯定感を育成する。
例) 市民センターでの作品展示、小学生との交流